年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（２学年用） 教科　芸術　科目　美術Ⅰ

教　科：芸術　科　目：美術Ⅰ　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　3 組

教科担当者：（１組：梅田　）　（２組：梅田　）　（３組：梅田　）

使用教科書：（ 美術Ⅰ　38光村　美Ⅰ701　）

教科　芸術　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】素材の特性を知り、基本的道具の使い方を生かした制作技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】対象の観察を通し、発見した特性を生かし発展させ、表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】作品制作を通し、美術の面白さを認識し、自分と向き合い自己を高める力を身に付ける。

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の制作をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて制作方法を創意工夫して表している。	・造形的な美しさや表現の意図と創意工夫について考え、発送や構想を練り、美術の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めている。	・作品制作を通し、美術の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	自己の観察を通し、自分の特徴を発見し、自分らしさとな何かを考え、自分を見つめ直す機会とする。	・絵画（鉛筆デッサン）自画像 ・参考作品の鑑賞	○			○	・観察力、鉛筆の使い方を生かした表現 ・鉛筆デッサンの方法 ・描き込み	○	○	○	10
	鉛筆デッサンの手順と立体感・材質感の表現方法を学ぶ。	・自分らしさをポーズや背景、物で表現 ・自然なグラデーションの表現	○	○		○	・ポーズや背景などの画面の構成力 ・丁寧さ	○	○	○	5
	身近な素材の紙のモチーフにも美しさの要素がある事を発見する。	・シワシワにもんだ紙の鉛筆デッサン ・デザイン（紙のデッサンから発想した形）	○	○		○	・もんだ紙の鉛筆デッサン ・観察力 ・紙のシワ、材質感の表現	○	○	○	9
	偶然出来た形を基にオリジナルな発想力を身に付ける。	・紙のデッサンから発想した形を基に発展させた画面構造をお行う。 ・不透明水彩絵の具で彩色する。	○	○		○	・描き込み ・不透明水彩絵の具の特性を生かした表現	○	○	○	12
2学期	構成力と鉛筆での色々な塗り方を身に付ける。	・抽象形体での平面構成 ・直線や曲線で画面を区切り画面構成を行う。 ・区切られた形を鉛筆の濃淡で塗り分ける。	○	○		○	・画面配置の構成力 ・色々な鉛筆の塗り方	○	○	○	12
	円の形を生かした図案を考える丸盆全体の配色バランスを考えた彩色	・円のデザイン（飾り丸盆） ・圧縮パルプの丸盆を紙ヤスリで磨き、ジェッソで地塗りする。 ・不透明水彩絵の具で彩色する。	○	○		○	・円の形を生かした構成力 ・配色バランス ・描き込み ・丁寧さ	○	○	○	18
3学期	丸盆　裏面の制作	・表で面の図案を考慮した裏面の図案を考える。 ・彩色後ツヤ出しニスでコーティングする。	○	○		○	・表と面との図案の関連性 ・完成に向けた丁寧な作業の積み重ね	○	○	○	8
	彩色による平面構成	・タックステンド ・色彩バランスを考慮した図案を基に色セロハンを切って貼る作業を行う。	○	○		○	・全体と部分の色彩バランスを考えた構成力 ・丁寧な作業の積み重ね	○	○	○	4
											合計 78